

第1回教育改革フォーラム

あらためてFaculty Developmentについて考える

第1回教育改革フォーラムを開催いたします。大阪市立大学で開催してきた「教育改革シンポジウム」(1995年度の第1回～2021年度の第29回)を引き継いだ催しです。参加者がテーマについて共に議論をするという思いを込めて、新大学では名称を「教育改革フォーラム」といたしました。

大阪市立大学、大阪府立大学では、それぞれの文化の中でFaculty Development(FD)が行われてきました。今回、あらためてFDについての理論的背景や実践を学び、議論することで、両大学の歴史を活かしつつ、新たに大阪公立大学で多様な教育・FDを展開していくための確かな土台が築けると考えます。

本フォーラムでは、教育方法学・学習論がご専門の松下佳代先生(京都大学教授)を講師にお招きし、FDのあり方に関する理論的・歴史的な背景も踏まえつつ、日本を含め世界で多様に展開されているFDの実践についてお話しいただきます。これからの大阪公立大学のFDのあり方について、示唆に富んだお話をお聞きし、参加者の皆さまと議論を深められる場になると思っております。多くの教職員の方々にご参加いただければと存じます。



講師 松下佳代 先生

京都大学教授。教育方法学(特に能力論、学習論、評価論)がご専門で、1990年代以降提唱されるようになった「新しい能力」(コンピテンス、リテラシーなど)や学校・大学でのその形成のあり方について、カリキュラム・授業・評価などの点から批判的に検討されています。また、中学校・高等学校や大学の先生方と一緒に実践を作りながら、実践をふまえた理論の構築を進められています。

日時

2022年10月12日(水)15:00～17:00

場所

オンライン開催(Zoom Meeting)

定員

300名(事前申込制)

申込

10月6日(木)までに下記の参加申込フォームよりお申込みください。

<https://forms.office.com/r/DVh5WEyqVd>

15 : 00	開会挨拶 辰巳砂 昌弘 (大阪公立大学 学長)
15 : 05 ～ 15 : 15	趣旨説明
15 : 15 ～ 16 : 05	「FDの難しさと面白さ ―コロナ禍を経て考える―」 松下 佳代 (京都大学 教授)
16 : 05 ～ 16 : 20	コメント 西垣 順子 (高等教育研究開発センター 教授)
16 : 20 ～ 17 : 00	質疑応答
17 : 00	閉会挨拶 橋本 文彦 (教育改革委員会 委員長)

司会:<全体進行>橋本智也 <質疑応答進行>飯吉弘子

オンライン運営:平知宏 企画:飯吉弘子・橋本智也

本フォーラムとの連動企画として、FD研究会「大阪公立大学におけるFDのあり方について考える(1)」が11月4日(金)に開催されます。併せてご参加いただければと存じます。

主催:高等教育研究開発センター、教育学修支援室学修支援部門

共催:教育改革委員会、教育推進本部

お問い合わせ:大阪公立大学 高等教育研究開発センター (gr-las-highedu-event@omu.ac.jp)